

県公認審判講習会 (オープン参加) 講義

講 義 「審判員としての心構え」 講 師： 松本隆志 氏

向上心を持ってやれば必ず上手くなる！

日本公認を取った後にモチベーションが下がり、止まってしまう人も...
常に向上心を持ち続けることが大切。

全力を尽くす！

チームとしては、如何にこのゲームを一生懸命吹こうとしてくれているか？
不公平さが出てくると、プレイヤーやベンチのフラストレーションが溜まってくる、
レベルやランクではない、レフリーのハート！
どういう気持ちでその日を迎え、そのゲームに臨み、一試合通して自分の力を出し続けるか。
自らの力を上げるための努力をするかである。

高い目標を持つ！

8 年後に山口国体 (平成 23 年) を迎える
山口県内の日本公認レフリー 30~40 人の参加を目標

A 級 AA 級 国際級と常に高い目標 (上級審判を目指す) を持って！

レフリーのユニフォーム

清潔できちんと整えられたものを用意する。
身だしなみに気をつける。

審判に必要なもの

	ルールの理解	ルールブックの熟読
判 定	体力	
	決断力	自分が確認したものは思いきって鳴らす
技 術 (メカニック)		マニュアルの熟読

コントロール ゲームコントロール

精神的なコントロール (プレッシャーに動じない)

ルールの精神 (アドバンテージ・ディスアドバンテージ) を理解し、
そのゲームに応じた、その場面場面での感じ方と判定をするために

- ・ゲームを吹いた後の反省を言ってもらえる人を増やす
- ・いろんなヒントがある、その中から必要なものだけを取り入れよう。
- ・観客を意識して見せることをする。

- トラベリング
- ・ DEF をドリブルで抜く時 軸足（ピヴットフット）が変わる
 - ・ DEF をドリブルで抜く時 ドリブルでボールが手から離れる前に、ボールを持った時の軸足が床から離れる
 - ・ ポストプレー Jumpingドリブル
起こり得るプレイの予測をすることと、リードレフリーは全体を（足元も）見るために、後ろに下がって視野を広くする
- ダブルドリブル
- ・ キャッチ・ファンブル リカヴァーは OK
 - ・ キャッチ・コントロール ファンブル ドリブルはダブルドリブル
ドリブル前のファンブルとコントロールをどう見るか
ファンブルなのか、ドリブル（ボールコントロール）なのかを見極める
 - ・ イリーガルドリブル 手で支え持ったドリブルがその状況で有利か、不利かを見極めて判断する
- パーソナルファウル・ショット時
- DEF が両手をハンズアップしてコースに入ったように見せても、遅れて不当に妨げていないかを見極める
手首や肘を瞬時に押さえて妨げていないかを見極める
- ・ スクリーン 横からのスクリーンは DEF に当たって行けば、OFE のファウルとなる
バックの死角からのスクリーンをかける時は、DEF が通れる一步の幅を開ける必要がある、不当にスクリーンをかければ OFE のファウルとなる
 - ・ ムービングスクリーンはプレイヤー同志の“速さと距離”で見極める
 - ・ ハンドチェックング = カバーではなく不当に腕や肘で押す OFE の手の使い方（同じレベルで見えるようにする）
- ブロックチャージ
- ・ 接触が起こる前の OFE と DEF の位置関係を確認しておく
プレイヤーがジャンプした後に、その着地する場所に入って触れ合いを起こすことはファウルである。